

令和8年度 第2回 北浜北小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年7月23日（木） 午後1時30分から午後3時15分まで
- 2 開催場所 北浜北小学校 2階 多目的ルーム
- 3 出席委員 金子 善久、中村 重俊、鈴木 恵子、大石 篤郎、和田 澄香、山本 美和
- 4 欠席委員 加藤 隆男、服部 美保
- 5 学校支援コーディネーター 中田 佳奈江、金子 明、遠藤 小百合
- 6 学 校 袴田 洋史（校長）、齋藤 隆治（教頭）、工藤 麻耶（主幹教諭）、加藤 智章（CS担当教職員）、谷口 由紀子（CSディレクター）、職員
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 谷口 由紀子
- 9 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、中村副会長が、本日の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

- （1）子供たちの様子と課題について

※職員のグループワークに参加

11 会議記録

司会の教頭から、委員総数8人のうち6人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

- （1）子供たちの様子と課題について

議長の指示により、校長から、協議について説明があった。

・各テーブルの上に資料が置いてあるので、それを参考に各学年の問題点などを、付箋を使いながら協議をした。

・その後、各学年8グループに分かれて（なかよしは2グループ）、職員のグループワークの中に委員も1人ずつ参加し協議が行われた。

なかよし

・8割以上の子どもが「学校が楽しい」と感じているが、あいさつに関しては子どもと教員の間で認識のギャップがある。

→授業の楽しさを継続しつつ、家庭に対しても言葉遣いや態度に関する啓蒙活動を行う。

1年

・素直な評価が多く、概ね良好。課題は「廊下の歩き方（安全意識）」と「多様なあいさつの習慣化」。

→廊下での衝突事故の危険性を具体的に伝え、全校で指導を統一する。あいさつの良さを放送等も活用して伝えていく。

2年

・夢や目標があれば頑張れるが、自分から動く主体性に欠ける。タブレット使用時間や言葉遣いも課題。

→大人があいさつの手本を見せ、褒めることで意欲を高める。家庭と連携し、タブレット使用時間等のルール作りを支援する。

3年

・子ども同士の仲は非常に良いが、あいさつの評価が低い。電子機器の使用時間が無制限になりがちな面がある。

→教員以外の第三者（地域の大人）が社会ルールの大切さを直接伝えることで、子どもたちの自覚を促す。

4年

・相手の話を聞く力はあるが、自信がなく粘り強さに欠ける。外遊びをする子が固定化している。

→リーダーの育成や「体力アップカード」の活用。肯定的な声掛けで成功体験を積みませ、自信を育てる。

5年

・自信の有無や学習理解度に二極化が見られる。人間関係が固定化され、トラブル対応が未熟。

→小さなことでも良さを認め、肯定的な声掛けを増やす。多様な考えに触れるためのグループ活動を工夫する。

6年

・リーダーの役割は果たすが、自ら生み出す行動力が弱い。テスト後の振り返り（学びの活用）が不十分。

→指導にあえて「余白」を作り、子ども自身が工夫する機会を与える。自学ノート活用等、振り返りの質を高める指導を徹底する。

委員からは、以下の発言があった。

・先生方の深い分析力や、子どもたちのためという熱意を感じた。（大石委員）

その他報告事項等

司会から、第3回会議は、令和8年10月13日（火）午後1時15分から多目的ルームで開催する旨の報告があった。